

岳連
ニュース

宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>

(一社)静岡県山岳・スポーツライミング連盟

〒422-8076

静岡市駿河区八幡3-1-17

TEL (FAX) 054-288-7512

編集発行/総務委員会

令和4年6月27日発行

第39号

事業計画、予算承認される 令和4年度定時総会

令和4年の定時総会が、5月14日静岡市の「あざれあ」で開催され、令和3年度の事業報告・会計決算報告、令和4年度の事業計画案・収支予算案、理事選任案が加盟団体代表者や個人会員の出席のもとで審議された。

木ノ内会長から「コロナ禍で事業中止も続いたが、感染対策を講じながら、スポーツフェスティバルや山岳競技会をはじめ実施できた事業があった。また高校総体での富士高校男子の全国優勝やスポーツライミング・ボルダリングの全国大会



での本県優勝者が続き、県勢活躍の一年であった。コロナ終息は見通せない中で、会員の減少や知名度の低いスポーツライミングの現状など連盟の課題も多いが、積極的な事業展開とスポーツライミングの普及振興を図っていききたい。」との挨拶があった。

【事業報告・決算報告】事務局から総務関係者を説明し、各委員長説明(指導・競技・国際)が行われた。コロナ禍で全国の会議関係はオンラインでの実施や中止が相次いだ。当連盟の理事会、総会、スポーツフェスティバル登山大会や写真展は予定通り開催し、岳連ニュースも4回発行できた。

指導関係では、レスキュー講習会は初級中級とも開催するとともに、指導員コーチ1養成講習で新たな指導者3名を養成することができた。結果、当連盟の66名が公認コーチ



として登録されることとなった。一般向け普及事業については、夏山教室を県内の山伏への日帰り山行に変更して実施できたが、秋山・雪山講習は新型コロナウイルス感染で中止を余儀なくされた。

競技関係では、クライミングについて、県内国体予選会・東海ブロック大会を開催してきたが、国体の競技が感染症拡大で中止となった。高体連関係では全国高校クライミング選手権での優勝や全国登山大会での優勝と本県勢が活躍することができた。選手強化事業も概ね実施することができ、全国での活躍に結び付けることができた。国際関係では海外渡航制限があることから昨年に引き続き活動を中止した。

決算報告は、事業関係では、冬山講習の直前の中止に伴うキャンセル代の発生や中級レスキュー講習の受講収入の減で赤字が発生したが、カレンダー販売収益等もあり、結果として事業費では6万8千420円の黒字であり、管理費も含めた全体の当期正味財産増減額は1万156円の黒字となった。監事から事業収入を増やす工夫についての意見を付した会計監査報告があった後に、採決が行われ事業報告と決算報告は承認された。

【事業計画案と予算案】事業計画では、コロナ禍で中止となっていた事業も含め、本年度の実施開催を予定する。登山教室として夏山は八ヶ岳赤岳登山を予定し、事前登山として山伏を計画、秋山は白馬岳の自炊小屋泊りを計画している。国際関係では、10月以降に、令和5年度の実施に向けて、ネパール方面を視野にいれて研究会を予定。なお、関連する事項として、去る4月29日実施の国体静岡県予選会の結果に基づく本県代表選手の

選考について会長より提案があり、了承された。収支予算については、アスリート支援事業につき、パリオリンピックに向け個人を特定しての助成が増額される見込み。その他前年度決算を参考に作成したが、会費の減や管理経費の増などで、全体としては8万5千140円の赤字を見込んでいた。監事の意見もあり、レスキュー講習や指導者研修の事業への助成金の確保や事業費用等の圧縮に努力するつもりである。

採決が行われ、事業計画案と収支予算案は異議なく承認された。

【理事の選任】理事の変更について提案があり、採決の結果、選任案は異議なく承認された。

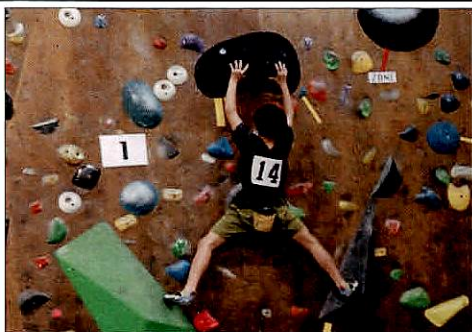
【報告事項等】本年度のスポーツフェスティバル登山大会は御殿場山岳会が担当、10月8日(土)、9日(日)に金時山・三國山で開催。国立青少年交流の家宿泊の1泊2日のAコースと日帰りのBコースを計画している。

(鈴木 雅春)

国体SC競技県予選会 ブロック大会 本大会出場懸け熱戦

本年度の栃木国体の予選会が23名(内ユース11名含む)の参加を得て、4月29日に午前中にスクエアでリード、午後にはCRAGに移動してボルダリングが行われました。

リードの競技は男子と女子が同時進行で行われ、男子は、メイン壁の真下から左上にダイレクトに抜けるルートで上部に行くにつれ厳しくなり、ルートでクリップのポイントも重要なルートでした(13bc)。昨年度全国高校選抜大会優勝の少年男子の鈴木音生君が上部の悪いホールドをメリハ



リのある登りで唯一完登を決め、成年男子2名と少年男子の2名が32+で続いた。女子ルートは6番壁からルーフを超えメイン壁の右上に抜け、特に上部に大きなムーブを持ちにくいホールドが続くルート(13b)で永嶋さんと狩野さんが37+の最高到達点をマークし、堀内さんがこれに続いた。

その後、CRAGに移動して行われボルダリング競技は4分間オンサイト・4課題のベルトコンベア方式で行われ、最初に行われた女子は、多彩要素を持った4課題を一撃で全完登したのは、昨年全国ユースB優勝者の永嶋さんが1位となり、アテンプト数で2位に狩野さんが入り、3完登も3人と女子のレベルの高さが示される結果となった。

男子は4課題ともコイディネーション系の要素が盛り込まれており、鈴木音生は3完登と高い対応力を示した。2完登には成年の池田さんが続い

た。最後に、セットしていただいた瀧浪さんに課題からの選手へのメッセージを伺い大会を終了した。中身の濃いルート・課題をセットしていただいたセッターの皆様および会場を準備していただいたスクエアさんおよびCRAGさんには、大変感謝申し上げます。

本年7月に岐阜県で行われる東海ブロック大会での健闘と代表権の獲得・本大会での活躍を期待したいと思います。

上位の選手は次の通り。
成年男子(本大会)
1位 池田鋼史 2位 原 賢伸
少年男子(ブロック大会)
1位 鈴木音生 2位 鈴木大翔
少年女子(ブロック大会)



1位 永嶋美智華 2位 鈴木結菜
ユース男子 1位 船越
琉生 2位 宮川幸大

ユース女子 1位 狩野 風 2位 堀内優里
(諸戸明)

静岡高男子、富士高女子優勝 静岡県高校総体登山競技

第70回静岡県高等学校総合体育大会登山競技が5月28、29日、湖西連峰で行われた。男子16チーム、女子12チームが全国大会及び東海総体への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げた。



静岡高校男子チーム

1日目のコースは、梅田公園を出発し梅田峠から神石山、多米峠、大知波峠を経ておちばの里へと下りる。2日目のコースはおちばの里から約1.5km離れた地点から出発し、おちばの里、富士見岩、大知波峠、多米峠、神石山、梅田峠を経て梅田公園に向かう。2日目の大知波峠では熱中症対策として大会運営側からスポーツドリンクを配布し10分間の強制休憩をとることとした。

今大会は行動(体力・歩行)、生活(装備・服装・設営)、知識(天気図・課題テスト・読図・

差が45秒であった。女子の最高タイムは両日とも富士高校で1日目は2時間12分秒、2日目が2時間52分2秒で2位チームを大きく引き離す好タイムであった。

競技の結果、男子は静岡高校が初優勝、女子は富士高校が3年ぶり4回目の優勝を果たした。静岡高校男子チームは全ての項目において高得点をマークし、富士高校女子チームは3年生2名、1年生2名であったがチームワークで2位チームと6.4点の大差をつけ優勝した。

男子は6位まで、女子は4位までが入賞で結果は下記のとおりである。

男子の部 ①静岡 ②富士 ③沼津東 ④浜松日体 ⑤藤枝東 ⑥富士宮西

女子の部 ①富士 ②沼津東 ③静岡 ④浜松日体

1位は全国総体(香川県仲多度郡まんのう町・笠形山・竜王山・大川山)、2位、3位は東海総体(愛知県新城市・明神山)へ出場。

(鈴木重幸)

指導者研修会

P D C A登山指導・地図アプリ活用を学ぶ

新型コロナウイルス感染拡大のため1月29日予定の令和3年度指導者研修会が、5月22日(日)に静岡の「あざれあ」で開催された。前半は鈴木修指導員を講師にして令和3年度安全登山指導者研修会(東部地区)の参加報告(後半は海外アドベンチャーレースで数々の実績を重

ね、南極観測隊にも参加した富士宮在住の宮内佐季子さんの「地形図の読み方とナビゲーション」の講演があった。

第1部 鈴木指導員はまず、若い指導員の育成に努めたいと抱負を述べた。名古屋工業大学の北村教授の「P D C Aを活用した安全登山の指導」

の報告では、技量・体力と山の難易度で登山者の満足度が変わる、「山に何を求めるか」目的に沿ったP D C Aが自立した登山者の育成につながる。

事前の地図によるイメージトレーニングでリスク認知とリスクを制御できる時間軸(何時、気づくか)を考慮し、プランBをもつことが大切。鈴木指導員は「引き返す勇氣」とともに引き返す計画も大事と述べた。

なお、この研修会の詳細報告は「宝永第37号」に掲載されている。



第2部 「地形図の読み方とナビゲーション」：道迷い防止のために「宮内講師はスマホの地図アプリと紙地図の活用方法を述べた。地図アプリの第1の長所は現在地が特定できる点、一方、「先読み」や「目標物を手前から見つける」ことは苦手、紙地図は広範囲を見渡せる利点がある。その上で「スマホの地図アプリを使わない手はない」と言う。スマホ時代でも

地図記号の知識や等高線から地形を読み取ることが、安全に「山を楽しむ」ために必要、紙地図と同様である。また、地図アプリとスマホの注意点を述べた。地図アプリにより行程トレースに誤差がある、スマホの選定は位置精度の高いものをロコミで探すなど。初心者への地図読み練習として「紙地図+コンパスでトレース」は有効。地図を読めない人にもチェックポイントを確認してもらうなど、ナビゲーションに引き込むことが大切。複数でナビゲーションしているときは、ひとつの言葉でお互いのイメージする場面が違うことがあるので注意する。突き当たりが合流点だったりする。講演後はリラックスした質疑応答。冬季登山における地図アプリの落とし穴やアドベンチャーレースでのエピソードが話題になった。

参加団体13団体、個人会員5名、参加人数36名
(中川 清)

山岳会紹介

里山から、八ヶ岳、南・北アルプス等のメジャーな山まで。また、計画・実施については、当番制をとって、3名の当番が計画立案、参加者の募集、そして、実施の時

袋井山の会
会長 根津 幸久

このことにより、会員それぞれが主体的に関わり、山をより深く知ることと愛着をもち心に残る楽しい山行となっています。個人山行では、登山技術の向上と山の素晴らしさを体感していただくため、小グループ

反省点については、問題点を共有化する等、今後の山行に活かすようにしています。会員の中には、百名山達成者や、あと数座で達成という目前の方もいます。さらに、テント泊や岩登りを楽しむ者、花のことなら任せてと、四季折々の花の山に登る者など、個性あふれる会員がいます。

袋井山の会は、老若男女問わず、気軽に山歩きを楽しむ会として、平成10年に発足しました。月1回・2回の月例山行に少人数での個人山行、また、山行の情報交換の場として、月例会を毎月第2水曜日に行っています。現在、会員は30名で会員個々の力量に応じて、四季折々の山歩きを楽しんでいます。

月1回の定例会では、月例山行や個人山行の報告を行い、毎回「よかった、楽しかった、また行きたい」という声が必ず聞かれます。

定例会では、経験豊かな会員による経験や知識、特技などの座学研修を行い、安全で楽しい山行に努めています。一般市民向けには、毎年秋に日帰りの「市民トレッキング教室」を行っており、毎年30名から40名程度の応募者があります。これまでに、越前岳や竜ヶ岳、金時山など、秋の紅葉や富士山などを見ながら市民と共に山歩きを楽しむとともに、頂上ではお汁粉等をつくり山の楽しさを満喫しています。

このイベントを機に会に加入された方もあり、多くの人々に、山の素晴らしさを味わって頂きたいと思っています。会員の減少と高齢化という喫緊の課題もありますが、年令に関係なく山を愛する気持ち、山に登りたいという気持ちは皆同じです。同じ仲間として、これまで以上に、チャレンジ精神をもちながらもより安全な登山に徹し、和をもって会の一層の充実・発展に努めて参りたいと思います。

第5回理事会

日時 令和4年3月7日
(月) 18時30分～19時30分

分

会場 静岡県男女参画センター「あざれあ」5階
出席者 理事 18名中14名 監事 2名中1名
理事 木ノ内高嘉、鈴木重幸、前川朝夫、滝田博之、小林久仁彦、出利葉義次、大石幸男、鈴木修、鈴木雅春、中川清、内海廣治、加藤敏美、難波利行、諸戸明

監事 塩澤寿雄
挨拶 木ノ内会長

新型コロナウイルス蔓延防止が延長された。感染対策を怠りなく継続してください。今年度はコロナ禍でも国体予選、東海ブロック研修会、スポーツフェスティバルなどを実施できた。一方、冬山講習会などが中止となった。関係者の尽力に感謝します。

(1)各委員会報告

○指導・遭難対策委員会
・「指導者研修会」(1月29日実施予定)は5月22日(日)に延期。申し込み締め切りは5月13日。
・冬山講習会は中止
・山岳コーチ1養成講座

受講により3名が新たに指導員となった。

(2)令和4年度の事業計画・予算(案)

○指導・遭難対策委員会
・講習会関係では令和4年5月22日に延期の指導者研修会、6月18日(土)に山岳レスキュー(中級)、令和5年1月14日(土)山岳レスキュー(初級)、1月29日(日)指導者研修会、2月4日～5日に冬山講習会および指導者講習会など。

・登山教室関係では令和4年6月～8月、夏山教室「ハケ岳(赤岳)に登ろう」。9月～10月、秋山教室「白馬岳に登ろう」。令和5年2月、雪山教室富士見台にて
・山岳コーチ1養成講習会は3名以上で実施。現在1名が申し込み中。

(注)各日程は再確認する

○競技委員会

・国体関係では令和4年4月29日に県予選、実施要項は以前の採点・審査方法に戻して再作成した。東海ブロック大会は7月16日～17日岐阜にて。本大会は10月2日～4日栃木県。

・高体連関係では令和4年11月3日にクライミング県予選。12月24日～25日全国選抜大会。

・選手強化事業関係ではクライミングコンテストを年4回計画
・その他、竜爪山競技会を12月11日に実施予定。

○その他
・スポーツフェスティバル 令和4年10月9日～10日、Aコース金時山から三国山。Bコース三国山。東部ブロックが担当。

・「山の日」行事は写真展を実施予定。
○予算 今年度に準じているが、中級レスキュー講習会の会場費などを計上、カレンダーは210部に減らす。

(3)JMSCA全国理事長会議(東京・2月13日)報告

第6回理事会

日時 令和4年4月18日
(月) 18時30分～20時30分

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

5階 505号室
出席者 理事 11名、
理事 木ノ内高嘉、滝田

・コロナ禍ほとんどがオンライン参加であった。
・丸会長から①新しい山岳保険が24年から始まる
②所属団体の支援プロジェクトチームを設置した③山岳スキー競技が次期冬季五輪の正式種目に決まった。選手育成、競技普及に努めると挨拶があった。
日山協との関係では、競技出場の個人申込を県岳連で把握できていない点はひとつの課題である。

(4)その他
・静岡市北部体育館内にクライミング場の設置・再開」の要望書
県内4団体で2月末に提出予定だったが、県岳連は理事会前のため留保したいと回答した。提出されたかどうか未定。市岳連の動向を見る。

(中川 清)

博之、鈴木重幸、前川朝夫、堀内修 小林久二彦、望月喜久治、赤堀正、出利葉義次、大石幸男、鈴木雅春、岩堀(代)中川清、内海廣治、加藤敏美、難波利夫、諸戸明
挨拶 木ノ内会長
令和3年度の岳連行事も3月末までに終了しまし

た。そのほかコロナ関連で実施できなかった行事については、コロナの感染対策を取りながら今年度の事業を進めていきたい。

本日は、総会に向け資料の確認照合をし、意見があれば検討し取り入れていきたい。

(1)各委員会の報告事項
○指導委員会(内海)
山岳コーチ(指導員・検定員)合格しました。
①山岳コーチ1研修会受講者 3名合格 (三ツ修了証 受領)
見原航平(高体連)杉本和美(島田しらびそ)浅生澄子(藤枝山岳会)

②B級主任検定員養成講習会 受講者 2名 合格 鈴木修(島田しらびそ) 小林玲子(個人会員)
○競技委員会 (諸戸)報告事項無し
○指導遭難対策委員会
①指導員研修会 5月22日(日)13時～16時 会場 あざれあ
・安全登山者研修会報告 鈴木修氏
・「地形図の読み方とナビゲーション」宮内佐季

子氏
②山岳レスキュー講習会(中級) 6月19日(日) 会場 静岡労働会館
○競技委員会(諸戸)
①第77回国体静岡県予選会 4月29日(金) 会場 リード競技 浜松スクエア ボルタリング競技 CAG

(3)令和4年度定時総会 期日 5月14日(土)
「あざれあ」
総会資料について照合確認、次第の担当者打ち合わせ等を行った。

(4)第66回スポーツフェスティバル (堀内) 期日 令和4年10月8日(土)～9日(日)
Aコース 1泊2日 1日目 金時山 2日目 三国山 Bコース 日帰り 竜坂峠大洞山檜木山三国峠バス須走道の駅

(5)「山の日」の行事 今年も昨年同様写真展を開催する予定。
(6)その他
・南アルプス 山小屋営業の予定。
・個人会員 現在7名 (前川 朝夫)

・「地形図の読み方とナビゲーション」宮内佐季